

# 環境経営レポート

2023 年度

(対象期間: 2023 年 12月 1日～ 2024 年 11月 30日)



株式会社 郡資

発行日: 2025年1月20日

## 作業状況



収集運搬車輛



フォークリフトでの運搬作業



コンテナの脱着作業



産廃コンテナ保管作業



フォークリフトによる積込作業

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ・環境経営方針	1
組織の概要、許可の内容	2
事業の紹介、環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
受託した廃棄物の収集運搬処理量、環境経営中期目標	4
環境経営計画・経営目標(単年度)	5
環境経営目標の実績・達成度・評価	6
環境経営計画の実績・評価	7
次年度の環境経営計画と環境経営目標	8
環境活動記録①	9
環境活動記録②	10
緊急事態の想定・対応・訓練結果	11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟の有無 代表者による全体の評価と見直し・指示	12

当社は、創業以来、産業廃棄物・資源リサイクルの収集運搬事業に深く関わる中で、大量の廃棄物を生み出す社会構造に対し常に問題意識を持ち、事業活動を通して持続型資源循環社会の構築を目指し取り組んでまいりました。

これからもエコアクション21による環境経営への取り組みを通して環境負荷のさらなる低減に努め社会、お客様のニーズに応えていくとともに、地球環境及び地域社会の環境保全のために積極的に役割を果たしてまいります。

# 環境経営方針

## 環境経営理念

株式会社郡資は、産業廃棄物収集運搬事業をとおして地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。環境負荷を継続的に改善して環境の保全に努めるとともに、受託した産業廃棄物を適正に処理・リサイクルすることにより、美しい地球環境を未来へ繋いでいきます。

関連法規を遵守し事業活動のあらゆる分野で、従業員一丸となって環境に配慮した行動に努め継続的に改善活動に取り組んでまいります。

## 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制等を遵守します。
2. 省資源・省エネによるCO2排出量の削減、環境負荷の最小化を推進し使用する電力および水の使用量を削減します。
3. 収集運搬車両のエコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取り組みます。
4. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
5. 全社員が環境経営システムへの理解を深め、かつ、行動します。
6. 地域社会における環境保全活動に積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。

制定日：2021年 12月 1日



株式会社 郡 資  
代表取締役 影山 敏宏

## □組織の概要

更新日：2023年12月1日

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社 郡資  
代表取締役社長 影山敏宏
- (2) 所在地  
本 社 福島県郡山市田村町金屋字川久保102-1  
作 業 所 福島県郡山市石塚111
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 環境衛生管理部長 長尾利一 TEL：024-944-8201  
担当者 環境衛生管理事務局 有馬正好 TEL：024-941-5699
- (4) 事業活動の内容  
産業廃棄物収集運搬業務、一般廃棄物収集運搬業務  
資源リサイクル収集業  
一般貨物運送業務
- (5) 事業の規模  
法人設立 昭和15年4月 創業 (81年)  
資本金 1,000 万円  
売上高 8,338 万円

	本 社	構内作業所
従業員	2 名	8 名
延べ床面積	169 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>

### 保有車輛

車種	台数	備 考
11 t アームロールダンプ	1 台	積載量 6t
20 t ウイング車	1 台	積載量 13t
8 t ウイング車	1 台	積載量 2.1t
8 t 平ボディー	1 台	積載量 3.5t
4 t 平ボディー	1 台	積載量 2t
合計	5 台	

## □許可の内容

### 一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	許可種類
郡山市	第36号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	一般廃棄物(ごみ) (積み替え保管なし)

### 産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類											
					汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	金属くず	動植物性残さ	鉱さい	
福島県	第007020476528号	令和4年6月28日	令和9年3月21日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 一般貨物自動車運送事業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	許可種類
-	東自貨第96号	令和5年7月27日	-	一般貨物自動車運送事業

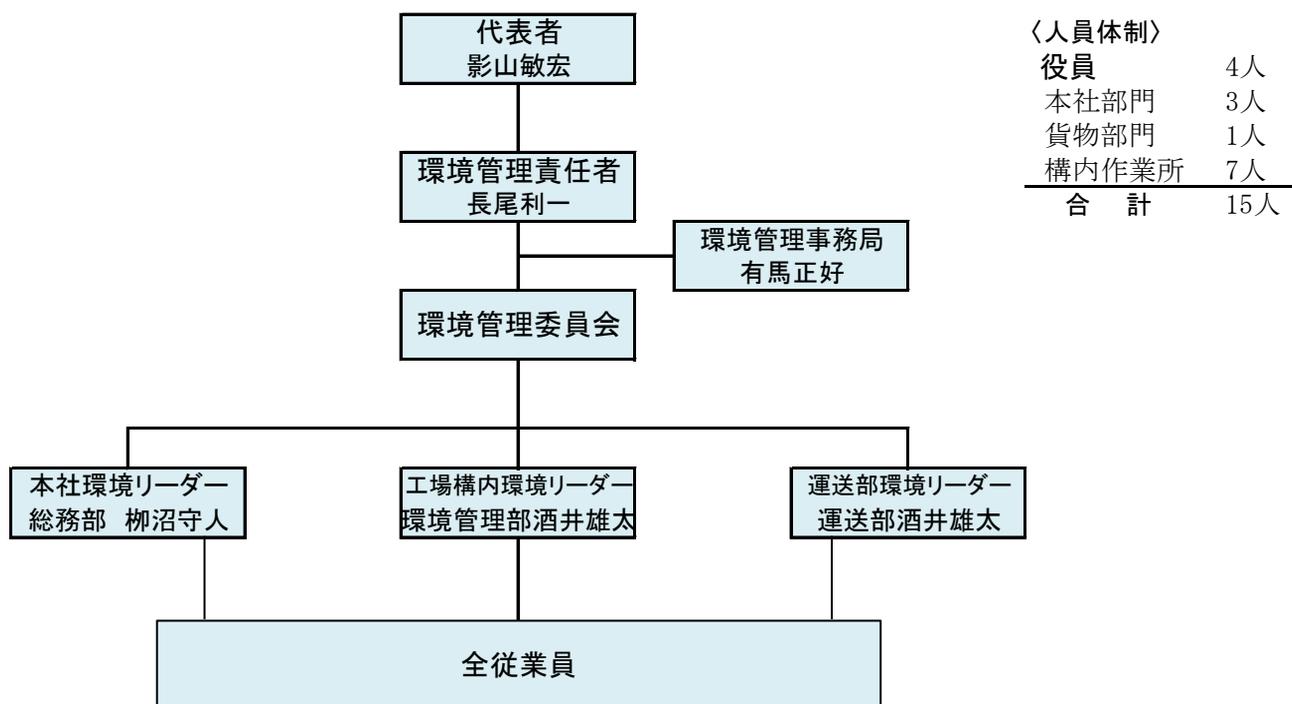
## □認証・登録の対象組織

登録組織名： 株式会社郡資  
対象事業所： 本社  
パナソニック郡山工場構内作業所

## □事業の紹介

当社は、昭和45年松下電工株式会社の郡山工場開設以来の協力会社として、プリント基板材料である胴張り積層板及びプリプレグの外形加工を担当するなど順調に業務を伸長させてまいりました。現在は、同工場内より排出される産業廃棄物及び一般廃棄物の資源リサイクルと収集運搬業務に携わっております。

## □環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営環境に関する統括責任。</li> <li>・経営における課題とチャンス明確化。</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者等を準備。</li> <li>・経営環境方針を定め、社員に周知する。</li> <li>・環境管理責任者を任命する。</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理を行う。</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告する。</li> </ul>
環境管理推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者を委員長とし、環境管理責任者が招集する。</li> <li>・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境リーダーは各部門で実施する。</li> <li>・内部監査の代わりとして、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合や不具合がある場合は、代表者、環境リーダーに是正を勧告する。</li> </ul>
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐。</li> <li>・環境関連外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>・環境経営目標・計画書案の作成環境活動レポートの作成、公開、事務所への備付と地域事務局への送付。</li> <li>・取組みデータの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版の管理。</li> </ul>
環境リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当部門について環境経営システムを実施し維持する。</li> <li>・省資源、省エネ、節水の奨励・実施確認及び是正措置。</li> <li>・従業員に対する教育訓練の実施。</li> <li>・環境経営目標達成に向けた取組の実施。</li> <li>・環境関連法規等遵守の取組。</li> <li>・緊急事態対応試行訓練の実施・記録。</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。</li> <li>・決定事項を守り、自主的かつ積極的に環境活動へ参加する。</li> </ul>

受託した産業廃棄物の収集運搬量・・・(2023年12月～2024年11月までの期間)

再生資源の種類	単位	回収・収集運搬量
廃プラスチック	t	1,507.87
紙くず	t	331.46
ガラスくず等	t	0.15
金属くず	t	268.13
鋤さい	t	36.9
汚泥	t	223.47

受託した一般廃棄物の収集運搬量・・・(2023年12月～2024年11月までの期間)

再生資源の種類	単位	回収・収集運搬量
その他：事業系一般可燃ごみ(焼却ごみ)	t	57.1
その他：事業系一般資源ごみ(雑誌・新聞・パット紙等)	t	98.9

口中期経営目標・計画

項目	単位	<環境経営目標>										<環境経営計画>		
		2023年12月1日～2024年11月30日		2024年度		2025年度		2026年度		計画取組項目	担当部門	担当者		
		基準年度実績値	削減率	削減量	目標値	削減率	削減量	目標値	削減率				削減量	目標値
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	55,844	1%	558.4	55,285	2%	1116.9	54,727	3%	1,675	54,168	電力、LPG、自動車燃料の使用量の削減を図り基準年度実績値から年1%削減する。	全社	酒井
	ind-kg/t 原単位	22.12	1%	0.22	21.90	2%	0.44	21.68	3%	0.66	21.46			
電力消費量の削減 kWh	kWh	26,999	1%	269.99	26,729	2%	540.0	26,459	3%	810.0	26,189	空調、照明等使用時の節電により基準年度実績値から年1%削減する。	総務部	柳沼
	kg-CO2*kWh kg-CO2	10,503	1%	105.03	10,398	2%	210.05	10,293	3%	315.08	10,188			
LPG使用量の削減 m³	m³	352.70	1%	3.53	349.17	2%	7.05	345.65	3%	10.58	342.12	給湯使用時の適温調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	kg-CO2*m³ kg-CO2	2,109.1	1%	21.09	2,088.1	2%	42.18	2,067.0	3%	63.27	2,045.9			
灯油使用量の削減 ℓ	ℓ	362.00	1%	3.62	358.38	2%	7.24	354.76	3%	10.86	351.14	灯油使用時の室温の適正化調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	kg-CO2*ℓ kg-CO2	1,802.8	1%	18.03	1,784.7	2%	36.06	1,766.7	3%	54.08	1,748.7			
軽油使用量の削減 ℓ	ℓ	14,299	1%	142.99	14,156	2%	285.98	14,013	3%	428.97	13,870	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井
	kg-CO2*ℓ kg-CO2	37,449	1%	374.49	37,075	2%	748.99	36,700	3%	1,123.5	36,326			
ガソリン使用量の削減 ℓ	ℓ	2,490	1%	24.90	2,465	2%	49.80	2,440	3%	74.71	2,416	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井
	kg-CO2*ℓ kg-CO2	5,782	1%	57.82	5,725	2%	115.65	5,667	3%	173.47	5,609			
一般廃棄物排出量削減 kg*kg/t (自社)	kg	64,583	1%	0.65	63.9	2%	1.29	63.3	3%	1.94	62.6	OA紙の使用削減による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	ind-kg/t 原単位	0.0256	1%	0.0003	0.025	2%	0.0005	0.025	3%	0.0008	0.025			
水資源使用量の削減 m³	m³	171.0	1%	1.71	169.3	2%	3.42	167.6	3%	5.13	165.9	節水による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	ind-kg/t 原単位	0.068	1%	0.00	0.067	2%	0.00	0.066	3%	0.00	0.066			
受託産業廃棄物収集運搬等業務活動時CO2排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	※排出量 43,232	1%	432.32	※排出量 42,799	2%	864.64	※排出量 42,367	3%	1,297.0	※排出量 41,935	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井
	ind-kg/t 原単位	※排出量 17.13	1%	0.17	※排出量 16.96	2%	0.34	※排出量 16.79	3%	0.51	※排出量 16.61			
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	購入品目	2 品目			2 品目以上			2 品目以上			2 品目以上	エコマーク商品の優先購入	総務部	柳沼
地域貢献・環境保全 活動の実施	実施回数	2 回			2 回			2 回			2 回	環境教育の実施、作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	環境衛生管理部	EA21 事務局

- 削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対する評価となります。
- 収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値として定めています。
- 原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- 基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- 購入電力の排出係数は、ミツウロコグリーンエネルギー㈱ 2023年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.389(kg-CO2/kWh)を使用しています。
- CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- 構内作業所の方は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めておりません。
- 電気・水道・ガス・灯油は本社事務所の数値となります。
- PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標標準原単位評価計算式  

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量 (kg} \cdot \ell \cdot \text{kWh} \cdot \text{m}^3 / \text{年)}}{\text{廃棄物収集運搬量 (t/年)}}$$

□環境経営目標・経営計画(単年度)

(基準年からの3年目の運用期間)

<環境経営目標>

<環境経営計画>

項目	単位	2020年12月1日～ 2021年11月30日	2023年度		2023年12月1日～ 2024年11月30日まで	計画取組項目	担当 部門	担当者
		基準年度実績値	削減率	削減量	目標値			
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	40,168	3%	1205.0	38,963	電力、LPG、自動車燃料の使用量の削減を図り基準年度実績値から年1%削減する。	全社	酒井
	ind-kg/t 原単位	13.66	3%	0.41	13.25			
電力消費量の削減 kWh kg-CO2	kWh	3,689	3%	110.68	3,579	空調、照明等使用時の節電により基準年度実績値から年1%削減する。	総務部	柳沼
	kg-CO2*kWh	1,926	3%	57.78	1,868			
	ind-kg/t 原単位	0.655	3%	0.02	0.64			
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> kg-CO2	m <sup>3</sup>	257.4	3%	7.72	249.66	給湯使用時の適温温度の調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	kg-CO2*m <sup>3</sup>	1,544.3	3%	46.33	1,498.0			
	ind-kg/t 原単位	0.525	3%	0.02	0.509			
軽油使用量の削減 ℓ kg-CO2	ℓ	11,537	3%	346.11	11,191	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生 管理部	酒井
	kg-CO2*ℓ	30,227	3%	906.81	29,320			
	ind-kg/t 原単位	10.280	3%	0.31	9.972			
ガソリン使用量の削減 ℓ kg-CO2	ℓ	2,787	3%	83.60	2,703	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生 管理部	酒井
	kg-CO2*ℓ	6,471	3%	194.13	6,277			
	ind-kg/t 原単位	2.201	3%	0.07	2.135			
一般廃棄物排出量削減 kg*kg/t (自社)	kg	65.4	3%	1.96	63.4	OA紙の使用削減による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	ind-kg/t 原単位	0.022	3%	0.0007	0.022			
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	114.7	3%	3.44	111.2	節水による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	ind-kg/t 原単位	0.039	3%	0.001	0.038			
受託産業廃棄物収集運搬等 業務活動時CO2排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	※排出量 36,698	3%	1,101	※排出量 35,597	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生 管理部	酒井
	ind-kg/t 原単位	※排出量 12.48	3%	0.37	※排出量 12.11			
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	購入品目	0 品目			2 品目以上	エコマーク商品の優先購入	総務部	柳沼
地域貢献・環境保全 活動の実施	実施回数	0 回			2 回	環境教育の実施、作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	環境衛生 管理部	EA21 事務局

- ・削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対する評価となります。
- ・収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値として定めています。
- ・原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- ・基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- ・購入電力の排出係数は、東北電力による2021年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.522(kg-CO2/kWh)を使用しています。
- ・CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- ・構内作業所の方は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めておりません。
- ・電気・水道・ガスは本町事務所の数値となります。
- ・PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標基準原単位評価計算式

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量 (kg・ℓ・kWh・m}^3\text{/年)}}{\text{廃棄物収集運搬量 (t/年)}}$$

□環境経営目標の実績・達成度

(運用期間 2023年12月1日～2024年11月30日まで)

項目	単位	基準年度実績値	2023年度目標値			2023年度実績値			達成率	達成度
		2020年12月1日～ 2021年11月30日	削減率	削減量	目標値	削減率	削減量	実績数値		
収集運搬量	運搬量/t	2,940.3	-	-	2,940.3	-	-	2,524.0	-	-
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	40,168	3%	1205.0	38,963	20%	7,865	31,099	125.3	◎
	ind-kg/t 原単位	13.66	3%	0.41	13.25	7%	0.93	12.32	107.6	◎
電力消費量の削減 kWh kg-CO2	kWh	3,689	3%	110.68	3,579	-12.0%	-429	4,008	89.3	△
	kg-CO2*kWh	1,926	3%	57.78	1,868	-12.0%	-224	2,092	89.3	△
	ind-kg/t 原単位	0.65	3%	0.020	0.64	-30.5%	-0.19	0.83	76.6	△
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> kg-CO2	m <sup>3</sup>	257.4	3%	7.722	249.7	-1.4%	-3.43	253.1	98.6	○
	kg-CO2*m <sup>3</sup>	1,544.3	3%	46.329	1,498.0	-1.4%	-20.58	1,518.6	98.6	○
	ind-kg/t 原単位	0.53	3%	0.0158	0.51	-18.1%	-0.092	0.60	84.7	△
軽油使用量の削減 ℓ kg-CO2	ℓ	11,537	3%	346.11	11,191	21.2%	2,371	8,820	126.9	◎
	kg-CO2*ℓ	30,227	3%	906.81	29,320	21.2%	6,212	23,108	126.9	◎
	ind-kg/t 原単位	10.28	3%	0.308	9.97	8.2%	0.82	9.16	108.9	◎
ガソリン使用量の削減 ℓ kg-CO2	ℓ	2,787	3%	83.60	2,703	30.2%	817	1,886	143.3	◎
	kg-CO2*ℓ	6,471	3%	194.13	6,277	30.2%	1,897	4,380	143.3	◎
	ind-kg/t 原単位	2.20	3%	0.066	2.13	18.7%	0.40	1.74	123.0	◎
一般廃棄物排出量削減 kg*kg/t (自社)	kg	65.4	3%	1.962	63.4	-1.8%	-1.15	64.6	98.2	○
	ind-kg/t 原単位	0.022	3%	0.0007	0.022	-18.6%	-0.004	0.026	84.3	△
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	114.7	3%	3.4	111.2	-3.0%	-3.39	114.6	97.0	○
	ind-kg/t 原単位	0.039	3%	0.001	0.038	-20.0%	-0.008	0.045	83.3	△
受託産業廃棄物収集運搬等 業務活動時CO2排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	※排出量 36,698	3%	1,100.9	※排出量 35,597	23%	8,109	※排出量 27,488	129.5	◎
	ind-kg/t 原単位	※排出量 12.48	3%	0.37	※排出量 12.11	10.0%	1.22	※排出量 10.89	111.2	◎
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	品目	0 品目			2 品目以上			2 品目	-	○
地域貢献・環境保全 活動の実施	実施回数	0 回			2 回			2 回	-	○

- ・削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。  
但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対する評価となります。
- ・収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値とし定めています。
- ・原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- ・基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- ・購入電力の排出係数は、東北電力による2021年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.522(kg-CO2/kWh)を使用しています。
- ・CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- ・構内作業所の分は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めておりません。
- ・電気・水道・ガスは本町事務所の数値となります。
- ・PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標基準原単位評価計算式

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量 (kg} \cdot \ell \cdot \text{kWh} \cdot \text{m}^3 \cdot \text{年)} }{\text{廃棄物収集運搬量 (t/年)}}$$

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

□環境経営計画の実績・評価

(運用期間 2023年12月1日～2024年11月30日まで)

項目	計画取組項目	取組内容	実施評価	コメント
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	電力、LPG、自動車燃料の使用量の削減を図り基準年度実績値から年1%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力消費量の削減</li> <li>LPG使用量の削減</li> <li>エコドライブ実践による軽油・ガソリン使用量削減</li> <li>文書の電子化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△</li> <li>△</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	CO2の排出は原単位指数で目標に対し0.93P削減、達成率は107.6%と上回る事が出来た。エコドライブの意識も浸透し主要の自動車燃料によるCO2削減を図ることが出来た。電力とLPG部門も改善傾向にあるもののまだ未達成であることからさらなる省エネ対応の強化を図っていく方針。
電力消費量の削減 kWh kg-CO2	空調、照明等使用時の節電により基準年度実績値から年1%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調温度の適温化(夏季26～28℃、冬季20℃以下)</li> <li>不在時の部屋照明の消灯</li> <li>OA機器の省電力設定</li> <li>休憩時間の消灯の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	電力使用量は目標に対し▲429kWhの達成率89.3%と及ばなかった。クールビズやウォームビズを推進し室内空調を制限したものの消費量の削減には至らなかった。改善傾向にあるものの、さらなる削減に向けた行動の徹底を図りたい。
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> kg-CO2	給湯使用時の適温温度の調整により基準年度実績値から年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>温水温度の適正化</li> <li>温水配管の保温</li> <li>冬季以外の給湯設備の使用停止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>△</li> </ul>	LPGの使用量は基準年比1.7%削減となったものの、目標に対しては達成率98.6%の253.1m <sup>3</sup> と若干及ばなかった。給湯器の使用時間をより配慮今後も継続して取組むこととしたい。
軽油使用量の削減 ℓ kg-CO2	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブ(急発進、急加速、空ふかし排除、アイドリングSTOP)の実践</li> <li>定期的な車輛整備点検の実施とタイヤ空気圧の適正管理</li> <li>適切な収集運搬計画の立案・実施</li> <li>走行距離と燃料供給量の記録化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	軽油は原単位指数で目標に対し0.82P削減の23,108kg/CO2、達成率は108.9%と上回る事が出来た。収集運搬の効率化を進めエコ運転を継続していきたい。
ガソリン使用量の削減 ℓ kg-CO2				ガソリンは原単位指数で目標に対し0.4P削減の4,380kg/CO2、達成率は123%であった。今後もエコドライブを実践していきたい。
一般廃棄物排出量削減 kg・kg/t (自社)	OA紙の使用削減による基準年度実績値から年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>シュレッダー廃紙のリサイクル化</li> <li>帳票見直しによる文書の電子化、紙印刷物の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	基準年比1.3%の削減率と改善したものの目標比▲1.1kgの達成率98.3%と及ばなかった。ペーパーレスFAX機能付コピー機能の本格運用となるが、紙ベースとの併用もまだ残ってしまい未達となった。社内文書の裏紙の利用や両面コピーの推進等をより浸透させていきたい。
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	節水による基準年度実績値から年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水シールの貼付とポスター掲示による周知、日常的な節水励行</li> <li>水道配管からの漏水の定期的な点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	水道水の使用実績は114.6m <sup>3</sup> で目標に対し3.4m <sup>3</sup> 増加の達成率は97%であった。今後は水の使用へのエコ意識を再度徹底し改善図りたい。
受託産業廃棄物収集運搬等業務活動時CO2排出量削減 kg-CO2	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業開始前の点検・車両整備</li> <li>エコドライブの推進(燃料使用量は別項目)</li> <li>車両の清掃、洗車時の節水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	収集運搬車のCO2排出量の削減状況は目標に対し8.1t抑制し27.48tの実績となり達成率は129.5%であった。原単位指数でも、目標比1.22P削減、達成率は111.2%となった。今後もエコドライブ10を継続しCO2排出量の削減を進めていく。
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	エコマーク商品の優先購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務用品のグリーン調達</li> <li>省エネ性能の高い電気製品の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期はDesktop PCをグリーン購入法、VOCガイドライン、J-Moss基準のHP Pro SFF 400 G9を導入。</li> <li>・下期は作業服の支給にエコマーク認定、グリーン購入法基準対応リサイクル素材使用率55%の製品を採用。</li> </ul>
地域貢献・環境保全活動の実施	環境教育の実施、作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21ガイドラインの内容、環境問題の現状と環境経営の必要性の確認</li> <li>作業所、本社周辺の道路、側溝等の清掃活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/30に郡山市主催のごみゼロキャンペーンに参加。</li> <li>・10/12に郡山中央工業団地内清掃活動を実施。</li> </ul>

□次年度の環境経営目標と環境経営計画

(基準年からの1年目の運用期間)

<環境経営目標>

<環境経営計画>

項目	単位	2023年12月1日～ 2024年11月30日	2024年度		2024年12月1日～ 2025年11月30日まで	計画取組項目	担当 部門	担当者
		基準年度実績値	削減率	削減量	目標値			
収集運搬量	運搬量/t	2,524.1	-	-	2,524.1			
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	55,844	1%	558.4	55,285	電力、LPG、自動車燃料の使用量の削減を図り基準年度実績値から年1%削減する。	全社	酒井
	ind-kg/t 原単位	22.12	1%	0.22	21.90			
電力消費量の削減 kWh kg-CO2	kWh	26,999	1%	270.0	26,729	空調、照明等使用時の節電により基準年度実績値から年1%削減する。	総務部	柳沼
	kg-CO2*kWh	10,503	1%	105.03	10,398			
	ind-kg/t 原単位	4.161	1%	0.00	4.12			
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> kg-CO2	m <sup>3</sup>	352.7	1%	3.53	349.17	給湯使用時の適温温度の調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	kg-CO2*m <sup>3</sup>	2,109.1	1%	21.09	2,088.1			
	ind-kg/t 原単位	0.84	1%	0.01	0.83			
灯油使用量の削減 ℓ kg-CO2	ℓ	362	1%	3.62	358	灯油使用時の室温の適正化調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	kg-CO2*ℓ	1,803	1%	18.03	1,785			
	ind-kg/t 原単位	0.714	1%	0.007	0.707			
軽油使用量の削減 ℓ kg-CO2	ℓ	14,299	1%	142.99	14,156	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生 管理部	酒井
	kg-CO2*ℓ	37,449	1%	374.49	37,075			
	ind-kg/t 原単位	14.84	1%	0.148	14.69			
ガソリン使用量の削減 ℓ kg-CO2	ℓ	2,490	1%	24.90	2,465	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生 管理部	酒井
	kg-CO2*ℓ	5,782	1%	57.82	5,725			
	ind-kg/t 原単位	2.29	1%	0.02	2.27			
一般廃棄物排出量削減 kg*kg/t (自社)	kg	64.583	1%	0.65	63.9	OA紙の使用削減による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	ind-kg/t 原単位	0.026	1%	0.0003	0.025			
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	171.0	1%	1.71	169.3	節水による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼
	ind-kg/t 原単位	0.068	1%	0.0007	0.067			
受託産業廃棄物収集運搬等 業務活動時CO2排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	※排出量 43,232	1%	432	※排出量 42,799	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生 管理部	酒井
	ind-kg/t 原単位	※排出量 17.13	1%	0.17	※排出量 16.96			
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	購入品目	2 品目			2 品目以上	エコマーク商品の優先購入	総務部	柳沼
地域貢献・環境保全 活動の実施	実施回数	2 回			2 回	環境教育の実施、作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	環境衛生 管理部	EA21 事務局

- ・削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対する評価となります
- ・収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値として定めています。
- ・原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- ・基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- ・購入電力の排出係数は、東北電力による2021年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.522 (kg-CO2/kWh)を使用しています。
- ・CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- ・構内作業所の方は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めてお
- ・電気・水道・ガス・灯油は本社事務所の数値となります。
- ・PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標基準原単位評価計算式  

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量 (kg} \cdot \ell \cdot \text{kWh} \cdot \text{m}^3 \cdot \text{年)}}{\text{廃棄物収集運搬量 (t/年)}}$$

## □環境活動記録 ①

環境活動の内容： 郡山市ごみゼロキャンペーン活動			
■実施日：	2024年 5月30日 15:00~16:00	■実施場所：	郡山市駅前周辺
■参加者：	影山敏宏（代表） 酒井雄太	■実施内容：	郡山市駅西口・東口等のゴミ拾い等清掃
<p>■講評：</p> <p>今回の活動は、郡山市が主催しているごみゼロキャンペーンに参加しました。弊社代表も参加し町のゴミいろいろなゴミを分別しながら収集しました。活動を通して郡山市民への啓発活動を郡山市とともにやる事で、ゴミをなくしクリーンでエコな社会が出来ればと思い活動しました。私たちは今後も地域活動や行政の活動にも前向きに参加し、環境保全に努めてまいります。</p>			

## □活動風景



## □環境活動記録 ②

環境活動の内容： 地域清掃活動	
■実施日： 2024年10月12日 15:00~16:00	■実施場所： 郡山中央工業団地内
■参加者： 長尾利一 酒井雄太 鈴木幸司 菅野真秀 添田克則 渡辺晃次 鈴木春江 植田日出男	■実施内容： 市道・歩道側のゴミ拾い等清掃
<p>■講評：</p> <p>今回の活動はゴミ拾いでの環境問題への意識の醸成を図りました。今回も去年同様ではありますが、いろいろなゴミが落ちており分別しながら収集しました。一年前にも活動しましたが、今年も同じようなゴミが落ちており複雑な心境にもなりましたが、今年も少しでもゴミを捨てない気持ちになっていただけたらという思いも込めて取り組みました。活動を継続して認知してもらうことで環境美化、環境保全に努めてまいります。</p>	

## □活動風景



## □緊急事態の想定・対応・訓練結果

緊急事態の想定： ゲリラ豪雨による、冠水また土砂崩れの発生による避難訓練	
■実施日： 2024年1月29日	■実施場所： 郡資事務所
■参加者： 長尾利一 酒井雄太 鈴木幸司 菅野真秀 添田克則 渡辺晃次 鈴木春江 植田日出男	■実施内容： VRを用いた避難訓練
手順書EA-11-1の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
■評価： VRを用いて訓練する事で、実際の水害を疑似体験する事で、避難方法、避難場所、危険個所をよりリアルに体験し、実際の災害時にも慌てない心構えを醸成することができた。	
■想定した緊急事態 1 阿武隈川の水位上昇による、工業団地周辺の道路の冠水、土砂崩れ	
■対応策 1 気象庁による避難指示の発令により、従業員を避難させる。 2 最寄りの避難場所への避難また、自宅に帰れる従業員は自宅での待機 3 避難後は、自治体の指示に従い行動する。	
■対応策の改定及び周知 1 平時に認知する事ができるようにフローチャートの掲示。 2 ハザードマップも平時確認できるように掲示する。 3 自宅、就業場所からの避難場所を確認、再認識。	
■訓練結果 1 風化させることなく、当時を振り返り危険性を再認識することができた。 2 VRを用いることでフローチャートに沿った避難、リスク回避が体験できた。	

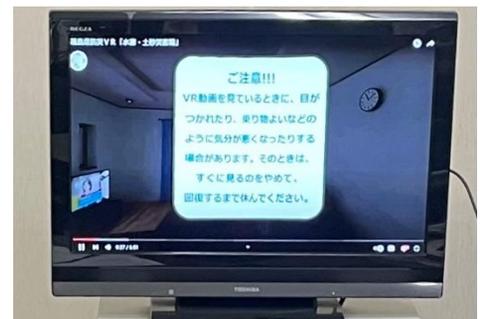
## □訓練状況



水害の被害想定(映像資料)



想定状況説明



VR災害体験①



VR災害体験②



VR災害体験③

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

1 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	○
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限	○
浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃	○
下水道法	除害施設	○
自動車NOx・PM法	排出ガス規制	○
フロン排出抑制法	フロン類の排出抑制管理、器機の定期的な点検や漏洩時の修理	○
自動車リサイクル法	フロン類、エアバック等の適正な処理・処分	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の再商品化	○
小型家電リサイクル法	デジタルカメラやゲーム機等の使用済小型電子機器等の再資源化	○
グリーン購入法	環境負荷低減に資する製品・サービスの調達	○
労働安全衛生法	安全で快適な職場環境の形成促進等	○
顧客要求・業界団体取決め事項	地域協定等	○

2 当社に適用される環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

また、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等についても過去3年間ありません。

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年1月20日

### 1. 環境経営方針

評価 産業廃棄物収集運搬事業をとおしてE A 21のプランに基づきCO2の削減を目指し環境課題の解決に向けた取組みを実践することが出来ました。関連法規を遵守し環境に配慮つつ事業活動を行い、環境保全の6つの行動指針に則して従業員一丸となって取組むことが出来ました。

改善指示 今後も取組みを継続します。

### 2. 環境経営目標、活動計画、実施状況

評価 CO2の排出は全体で7.86tを削減し運搬量原単位指数で目標に対し0.93P削減、達成率は107.6%と上回る事が出来ました。エコドライブの意識も浸透し、主要の自動車燃料部門でCO2削減を進めることが出来ました。電力は目標に対し89.3%、LPGは目標に対し98.6%とそれぞれ改善してきているものの達成には至りませんでした。さらなる節電、適温、節水に努め継続して取組んでまいります。

改善指示 環境活動に対するさらなる意識の向上を図り現在の取組みを継続します。

### 3. 環境経営システムと実施体制（Plan Do Check）

評価 環境経営システムを導入後、役割・権限・責任を明確にし具体的にPlan Do Checkを実践することによって効果が表われてきているものと評価しております。

改善指示 現在の体制を継続します。

### 4. 全体評価

当社は産業廃棄物の収集運搬を通じ環境への負荷の低減に積極的に取組み、その意思を地域社会やステークホルダーに対し明確に示すことが大切であると考えEA21に取組んでまいりました。

中計の取組み期間3年が経過し、すべての従業員がこれまで以上にエコドライブや節水、節電等への意識を高く持つようになり環境活動に対する取組みも定着してまいりました。

CO2の排出削減目標は全体を通しては達成することが出来、電気とLPG使用量の部門も目標には若干及ばなかったものの少しずつ改善のあとも見えてきております。今後も行動計画を継続して取組み循環型社会の実現に向け環境経営活動動をより一層推進していく方針です。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり